

Part III: 東京大学での 教育活動に利用するシステム – UTALとUTOL

説明者： 雨宮 智浩
情報基盤センター 教授

質問をslidoでお寄せください

[このリンク](#)にアクセスするか、

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

Outline

Part III : 東京大学での教育活動に利用するシステム - UTALとUTOL

(はじめに)

1. UTAS

2. UTOL

(おわりに)

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](#)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

本パートではUTASとUTOLを紹介します

東京大学で授業を始める前に、次の3つのシステムに慣れておくことをおすすめします

- **UTAS** (**UT**okyo **A**cademic Affairs **S**ystem) … 学務システム
 - シラバスの登録や成績の報告に利用
 - 大学として公式に記録すべきこれらの情報を取り扱う
- **UTOL** (**UT**okyo **L**MS) … 学習管理システム
 - お知らせの掲出, 資料の配付, 出欠の記録, 課題の受付に利用
 - 授業期間中の教員と学生の情報交換を支援する
- **Zoom** … オンライン会議ツール
 - 東京大学で最も広く利用されているオンライン会議ツール

→ **Part II**

より詳しい内容は **utelecon** で確認できます

The screenshot displays the 'utelecon' website interface. At the top left, the logo 'utelecon' is shown with the subtitle '情報システムの総合案内サイト@ 東京大学'. To the right is a search bar labeled 'Google 提供' and navigation links for 'TOP | About | English'. Below the header is a main navigation bar with several dropdown menus: 'まずはここから', '東京大学のシステム', 'オンラインの活用', '各種案内・イベント等', and 'サポート'. The 'サポート' menu is highlighted with a red dashed border. A dropdown menu is open under 'まずはここから', listing items like 'UTokyo Account', 'UTAS', 'UTOL (UTokyo LMS)', 'UTokyo Wi-Fi', 'Zoom', 'Webex', 'ECCSクラウドメール (Google Workspace)', 'UTokyo Microsoft License', 'UTokyo Slack', 'UTokyo VPN', and '一覧'. The 'UTAS' and 'UTOL (UTokyo LMS)' items are highlighted with a red solid border. At the bottom right, there are three icons: '上に戻る', 'フィードバック', and 'サポート窓口', with the 'サポート窓口' icon also highlighted by a red dashed border.

オンライン授業でなくても、
多くに共通して各システムを
使うことになります。

- 授業開始前

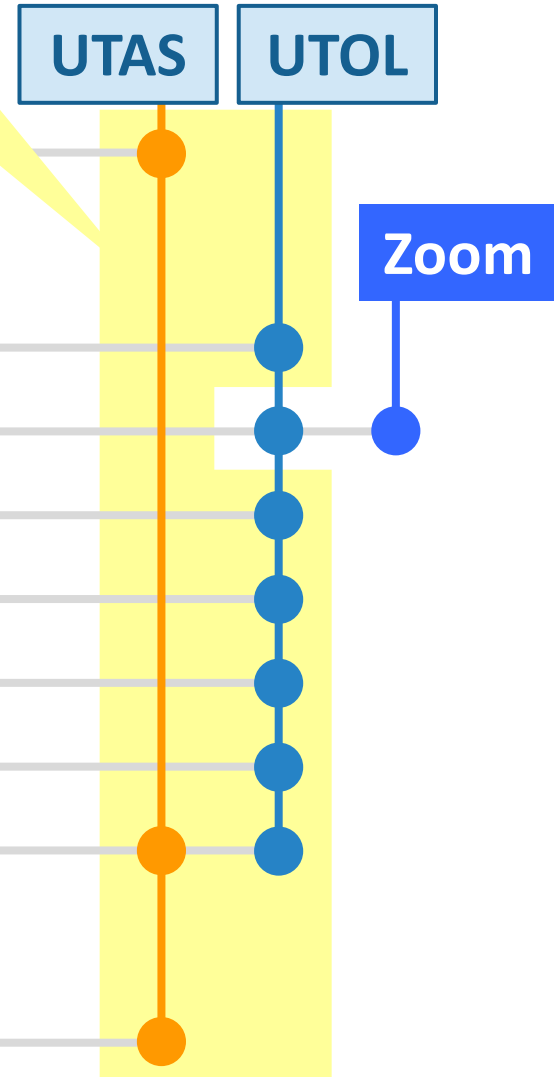
- シラバスの登録

- 授業期間中

- 授業時間外の学生とのコミュニケーション
 - オンライン会議の設定と会議情報の学生への周知
 - 資料の配付
 - 出欠の確認
 - 課題の設定, 提出受付と評価
 - オンラインテスト
 - 休講と補講の設定と学生への周知

- 授業期間後

- 成績の報告





UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>



UTOL

<https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/>

URLをブラウザのブックマークに登録しましょう

UTAS

学務システム

(はじめに)

1. UTAS

2. UTOL

(おわりに)

質問をslidoでお寄せください

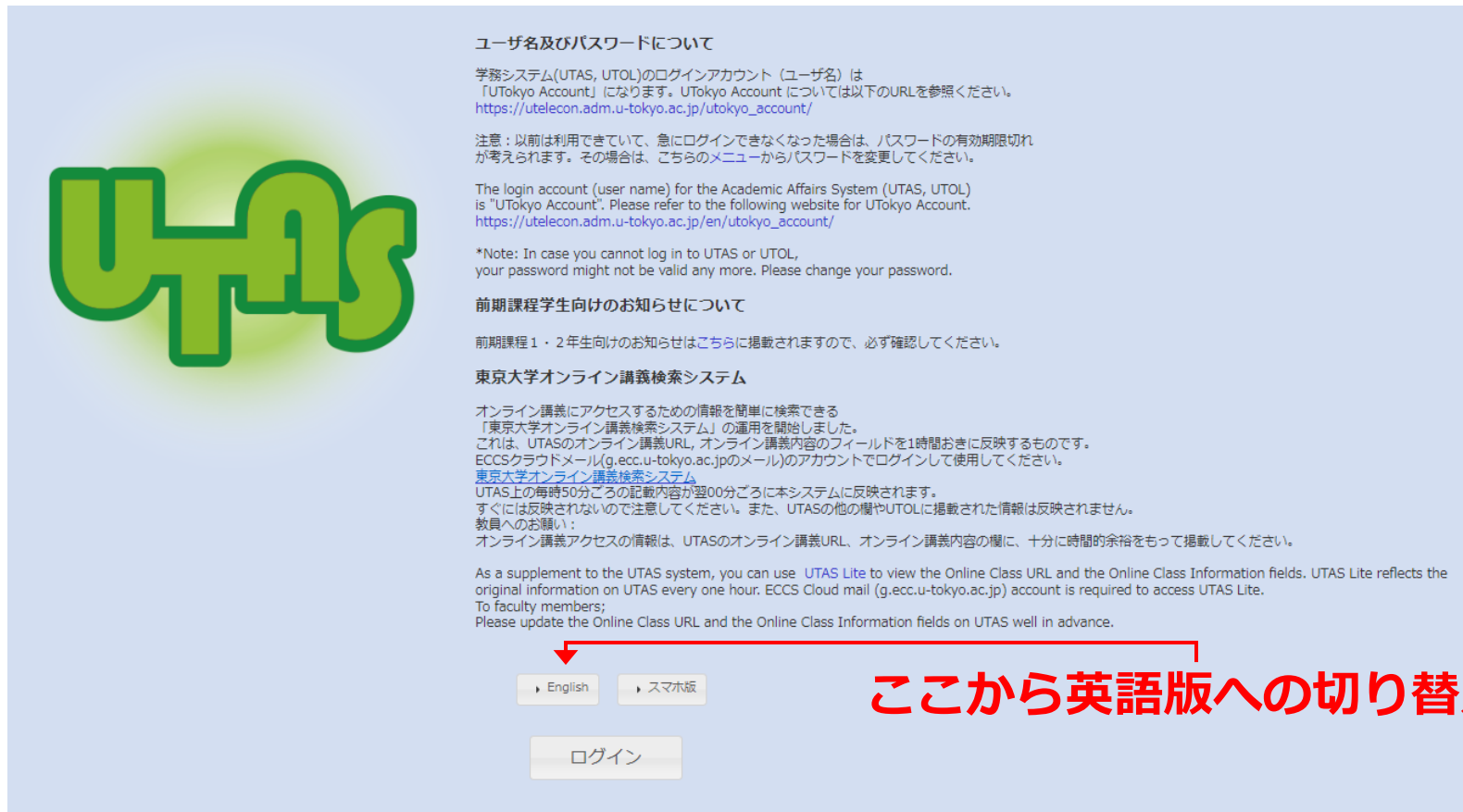
[このリンク](#)にアクセスするか、

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

「ログイン」を押す UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。



ユーザ名及びパスワードについて

学籍システム(UTAS, UTOL)のログインアカウント(ユーザ名)は「UTokyo Account」になります。UTokyo Account については以下のURLを参照ください。
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_account/

注意：以前は利用できていて、急にログインできなくなった場合は、パスワードの有効期限切れが考えられます。その場合は、こちらのメニューからパスワードを変更してください。

The login account (user name) for the Academic Affairs System (UTAS, UTOL) is "UTokyo Account". Please refer to the following website for UTokyo Account.
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/en/utokyo_account/

*Note: In case you cannot log in to UTAS or UTOL, your password might not be valid any more. Please change your password.

前期課程学生向けのお知らせについて

前期課程1・2年生向けのお知らせは[こちら](#)に掲載されますので、必ず確認してください。

東京大学オンライン講義検索システム

オンライン講義にアクセスするための情報を簡単に検索できる「東京大学オンライン講義検索システム」の運用を開始しました。これは、UTASのオンライン講義URL、オンライン講義内容のフィールドを1時間おきに反映するものです。ECCSクラウドメール(g.ecc.u-tokyo.ac.jpのメール)のアカウントでログインして使用してください。
[東京大学オンライン講義検索システム](#)
 UTAS上の毎時50分ごろの記載内容が翌00分ごろに本システムに反映されます。すぐには反映されないので注意してください。また、UTASの他の欄やUTOLに掲載された情報は反映されません。教員へお願い：オンライン講義アクセスの情報は、UTASのオンライン講義URL、オンライン講義内容の欄に、十分に時間的余裕をもって掲載してください。

As a supplement to the UTAS system, you can use **UTAS Lite** to view the Online Class URL and the Online Class Information fields. UTAS Lite reflects the original information on UTAS every one hour. ECCS Cloud mail (g.ecc.u-tokyo.ac.jp) account is required to access UTAS Lite.
 To faculty members;
 Please update the Online Class URL and the Online Class Information fields on UTAS well in advance.

English スマホ版

ログイン

ここから英語版への切り替えが可能

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

授業担当教員がUTASでしなければならないこと

**詳細は授業を開講する学部・研究科の指示に従ってください
(入力の時期, 内容, 方法など)**

1. 授業のシラバスを登録する

- 参照：シラバス作成のためのガイドライン (和/英)
- 参照：UTASマニュアル (教員) (現在は日本語版のみ提供) 32～47ページ

2. 授業の履修登録者一覧を確認する

- 参照：UTASマニュアル (教員) (現在は日本語版のみ提供) 7～12ページ

3. 学生に授業の成績を付与する

- 参照：UTASマニュアル (教員) (現在は日本語版のみ提供) 13～31ページ

授業の開講関係

- 授業の休講情報，教室変更情報，補講情報を登録する

学生の研究指導関係

- 指導担当学生の情報を閲覧する

UTAS : 言語の切り替え (ログイン後)

▼言語の切り替えはここから可能

The screenshot shows the UTAS Academic Affairs System interface. At the top, there is a navigation bar with the UTAS logo and the text "UTokyo Academic affairs System". To the right of the logo, there are icons for "スマホ版" (Mobile version), "English" (highlighted with a red box and a red arrow), "残り約 30分" (Remaining approx. 30 min), and "ログアウト" (Logout). Below the navigation bar, there is a menu with icons for "HOME", "学生情報" (Student information), "履修" (Registration), "休補・スケジュール" (Leave/Makeup/Schedule), "シラバス" (Syllabus), "アンケート" (Survey), "掲示" (Notice), "その他" (Others), and "LMS".

On the left side, there is a "ダウンロードセンター" (Download Center) section with a "新着情報" (New information) box and a "よく使うメニュー" (Frequently used menu) box. The "よく使うメニュー" box contains links for "学生情報参照" (Refer student information), "MYスケジュール" (MY schedule), "シラバスフリーワード検索 (シラバス参照)" (Syllabus free word search (refer syllabus)), "シラバス項目指定検索 (シラバス参照)" (Syllabus item specified search (refer syllabus)), "学科・コース別検索 (シラバス参照)" (Search by department/course (refer syllabus)), and "新着掲示" (New notices).

The main content area is the "ダウンロードセンター" (Download Center) with a search filter for "公開期間から検索" (Search by release period) from "2024年08月04日" to "2024年10月04日" and a "表示" (Display) button. A "フォルダ追加" (Add folder) button is also present. Below the search filter is a table of folders.

フォルダ名	公開期間	オーナー	サマリ
【進学選択】2025年度 (2024年実施)	2024年7月4日 - 2026年5月31日	教養学部前期課程	【進学選択】2025年度 関係書類
【進学選択の手引き】	2024年4月10日 - 2031年4月6日	本部署務課・前期課程	【2年生対象】進学選択の手引き
【進学選択】2024年度 (2023年実施)	2023年7月6日 - 2025年5月31日	教養学部前期課程	【進学選択】2024年度 関係書類
シラバス作成のためのガイドライン	2021年1月20日 - 2031年3月31日	本部署務課	シラバス作成のためのガイドライン
TAの心得・ガイドライン	2018年3月27日 - 2031年3月31日	本部署務課	TAの心得及びTAの活用に関するガイドライン
教養学部前期課程授業日程・学事日程・教室設備	2017年8月4日 - 2027年7月30日	教養学部前期課程	教養学部前期課程授業日程・学事日程・教室設備
UTAS利用者マニュアル (職員)	2017年6月14日 - 2047年6月13日	本部署務課	UTAS利用者マニュアル
UTAS利用者マニュアル (学生)	2017年6月14日 - 2047年6月13日	本部署務課	学生用のマニュアル
UTAS利用者マニュアル (教員)	2017年6月14日 - 2047年6月13日	本部署務課	教員用のマニュアル

The screenshot shows the UTAS Academic Affairs System interface. At the top, there are navigation icons for HOME, 学生情報 (Student Information), 履修 (Courses), 休補・スケジュール (Leave/Reschedule/Schedule), シラバス (Syllabus), アンケート (Surveys), 掲示 (Announcements), その他 (Others), and LMS. The 'その他' icon is highlighted with a red box and labeled 'その他' in a white box. Below this, the 'ダウンロードセンター' (Download Center) is visible, showing a search filter for '公開期間から検索' (Search by release period) from 2024年08月04日 to 2024年10月04日. A table lists various folders and files, with 'シラバス作成のためのガイドライン' (Syllabus Creation Guidelines) highlighted in a red box. A pop-up window shows the details of this folder, including a file named 'シラバス作成のためのガイドライン.pdf' (Syllabus Creation Guidelines.pdf) which is also highlighted in a red box. The file's registration date is 2023/12/08 14:32:27 and its summary is '2023年12月改訂' (Revised December 2023).

フォルダ名	公開期間	オーナー	サマリ
【進学選択】2025年度 (2024年実施)	2024年7月4日 - 2026年5月31日	教養学部前期課程	【進学選択】2025年度 関係書類
【進学選択の手引き】	2024年4月10日 - 2031年4月6日	本部学務課・前期課程	【2年生対象】進学選択の手引き
【進学選択】2024年度 (2023年実施)	2023年7月6日 - 2025年5月31日	教養学部前期課程	【進学選択】2024年度 関係書類
シラバス作成のためのガイドライン	2021年1月20日 - 2031年3月31日	本部学務課	
TAの心得・ガイドライン	2018年3月27日 - 2031年3月31日		
教養学部前期課程授業日程・学事日程・教室設備	2017年8月4日 - 2027年7月31日		
UTAS利用者マニュアル (職員)	2017年6月14日 - 2047年6月13日		
UTAS利用者マニュアル (学生)	2017年6月14日 - 2047年6月13日		
UTAS利用者マニュアル (教員)	2017年6月14日 - 2047年6月13日		

マニュアル
 (教員向け : 日本語版のみ)
 (学生向け : 和英)

シラバス作成のためのガイドライン

UTOL

UTokyo LMS (学習管理システム)

(はじめに)

1. UTAS

2. UTOL

(おわりに)

質問をslidoでお寄せください

[このリンク](#)にアクセスするか、

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

「ログイン」を押す

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。



ここから言語を切り替え可能

<https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/>

言語はここから切り替え可能

The screenshot displays the UTOL LMS interface. On the left is a navigation menu with items like '時間割', '教材一覧', and '提出状況一覧'. The main content area shows 'Personal Settings' with a 'Language' dropdown menu. The dropdown is open, showing 'Japanese', 'English' (highlighted), and 'Japanese'. A red box highlights the 'Settings' link in the top navigation bar, and a red arrow points from the text '言語はここから切り替え可能' to the 'Settings' link. Another red box highlights the 'English' option in the dropdown menu.

マニュアルはここから参照できます

The screenshot displays the UTOL LMS interface. On the left is a navigation menu with items: 時間割, 教材一覧, 提出状況一覧, コンテンツ検索, メッセージ一覧, オンライン授業情報, and コース検索. The main content area features a top navigation bar with 'Manual', 'Contacts', 'Help', 'Settings', and 'Logout'. A red box highlights the 'Manual' link, with a red arrow pointing to a 'Manual' section. This section contains a message: 'UTOLシステム操作方法等の利用方法をPDFにてご覧いただけます。' Below this, two links are listed: 'UTOL 学生向けマニュアル' (with a PDF icon) and 'UTOL 教職員向けマニュアル' (with a PDF icon). Both links are circled in red. A red arrow also points from the 'Manual' link in the top navigation bar to the 'Manual' section header. Below the manual links is a calendar section with buttons for '時間割' and 'カレンダー', and a date selector showing '2024年度' and '今日' (2024年09月04日).

Manual

Manual

UTOLシステム操作方法等の利用方法をPDFにてご覧いただけます。

学生向け

UTOL 学生向けマニュアル

学生向けの操作方法マニュアルです。

教職員向け

UTOL 教職員向けマニュアル

教員向けの操作方法マニュアルです。

時間割

カレンダー

2024年度

今日

2024年09月04日

時限 月 火 水 木 金 土

- UTOL は全学で利用可能な東京大学の学習管理システムです
- ただし, 利用するかどうかは各教員に委ねられています
 - 対面での開講の場合, LMS を利用せずに授業をおこなうこともできます
 - 一部の教員は ECCS クラウドメールで提供されている Google Classroom を使っています
- 学習管理システムとして, **UTOL の利用を推奨しています**
 - 学生にとってはシステムが統一されていることが望ましいです
 - 受講する授業によって利用するシステムやツールがバラバラだと, 学生に混乱を生じさせてしまいます!
 - 担当教員とTAは, 登録している学生と, お互いのメールアドレスを知らなくても連絡を取ることができます

UTOL を利用するかどうか決める

使う場合 **(推奨)**

登録の制限を設定する
(「履修者範囲」の設定)

使わない場合



UTASのシラバスに反映し、
授業についての標準的な連絡
手段を別途指示する



単位の修得を
希望する学生

登録必須

(または最初から登録されている)

自動連携で登録される

授業への出席だけを
希望する学生

(配布資料の閲覧だけを
希望する学生)

登録しない

担当教員が
(1) 学生の自己登録を可とする
か (2) 個別に学生を登録する
(どちらにするか選択)

学生であれば誰でも配布資料を閲覧できる状態が望ましくない授業もあるため、この設定が存在します

履修範囲設定の詳細

履修者範囲設定

UTASでの履修登録期間が
終わるまで

UTASでの履修登録期間が
終わって以降

常に『登録方法によらず全
て』

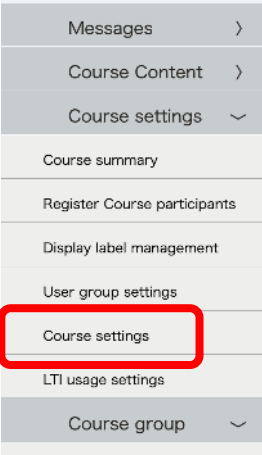
授業開講期間の前か途中かを問わず、出席を希望する学生
は誰でも登録が可能

履修確定日に『登録方法によ
らず全て』から『履修登録・
担当教員登録のみ』に**自動切
替**

条件を満たさない学生は
履修登録期間末に強制的に登録解除

常に『履修登録・担当教員登
録のみ』

- ・ UTASで履修登録している学生
- ・ 担当教員が直接登録した学生
のみ



授業担当教員がUTOLでできること

- (授業に学生を招待・登録する)
 - UTASに登録された学生のみ許可し, 講師が手動で招待しなければならない学生がいる場合のみ許可する
- 学生に資料を配付する
- 学生にオンライン授業の情報を知らせる
- 登録している学生やTAとのメッセージ (または全体通知) の送受信
- 課題の作成し, 共有し, 提出させ, 評価する
- 出席を取る
- フォーラムでの意見交換
- 更新通知を受信する
 - メール, LINE, UTokyo Slack を通じて可能

UTOLに関していただいた質問

- Q1. ライティングのクラスを教えています。学生の成果物に素早くコメントするのは簡単ですか？

A. 担当教員はUTOLでフィードバックコメントを登録できます。
あわせてUTOLマニュアル 75-78ページもご覧ください。

課題 > 編集 > 提出状況確認

The screenshot displays the UTOL interface. On the left, there is a sidebar with an 'Assignments' icon and a button labeled 'Check submission of the all enrolled students'. The main area shows a table of assignments with columns for 'Title', 'Submission start date', 'Submission end date', and 'Actions'. A modal window titled 'Feedback Comments' is open, showing a text area for 'Comments' (0 / 1300 Characters) and a 'Feedback file' section with a message: 'The file will be uploaded when you drag and drop to this area.' There is also a 'Reference' section with the text 'Has not been selected file.'

UTOLに関していただいた質問

- Q2. 1つのコース内で学生をグループに分けることはできますか。グループごとに異なる課題を割り当てたいです。
 - A. はい。「ユーザーグループ設定」をクリックしてください。
あわせてUTOLマニュアル 215-219ページもご覧ください。
- Q3. フィードバックシートやドキュメントを特定の学生個人に対してアップロードすることはできますか？
 - A. はい。メッセージをご利用ください。
あわせてUTOLマニュアル 49-57ページもご覧ください。

U UTOL についてより詳しくは

utelecon の UTOL についての記事 (和英)

- 教員向け

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/>

- 学生向け

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/students/>

UTokyo Portal の UTOL についての記事 (日本語のみ)

- 職員向け

<https://univtokyo.sharepoint.com/sites/utokyportal/wiki/d/UTOL.aspx>

参考資料 ([2024年3月実施の説明会資料](#)およびその[抜粋英語訳版](#))

Summary

Part III : 東京大学での教育活動に利用するシステム - UTALとUTOL

(はじめに)

1. UTAS

2. UTOL

(おわりに)

質問を**slido**でお寄せください

[このリンク](#)にアクセスするか,

<https://sli.do/> からアクセス

して以下のコードを入力

utelecon20240913

- 東京大学では、2020年の完全オンライン化以降、授業での情報システムやコミュニケーションツールの利用が急増
 - その後、対面授業への回帰がかなり進んでいるが、情報システムやコミュニケーションツールの活用は2019年以前と比べて大幅に増加
- 教室での情報システム利用のための環境整備も進んだ
 - Wi-Fiが教室に整備され、学生は自分のノートPCやデバイスを授業に持ち込むようになっている

対面授業でもオンライン授業でも、情報システムを有効に活用していきましょう！